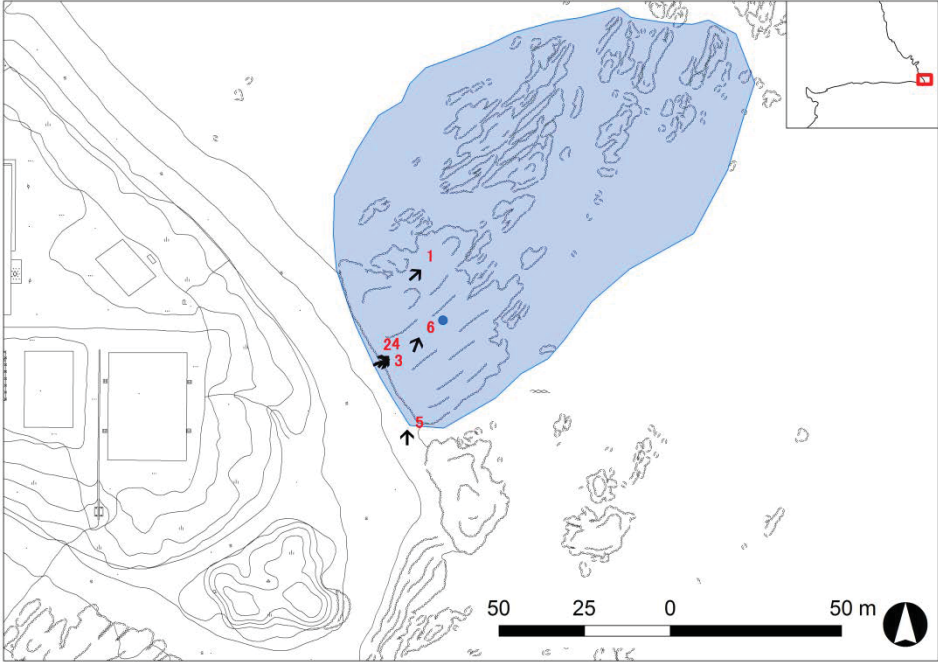


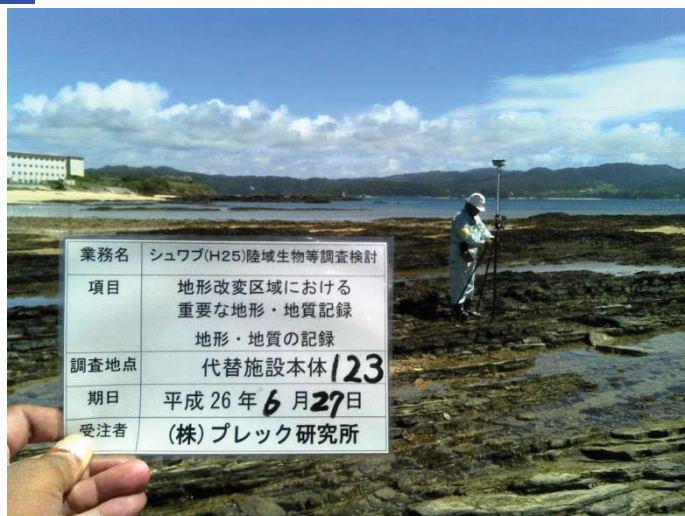
付表- 4.2.2.33(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 123)

No.	123
種類	波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 27 日及び 7 月 2 日
概要	<p>辺野古崎の北方 50~100m 付近に位置する波蝕棚。岩相は嘉陽層の砂岩・泥岩が卓越する互層である。</p> <p>走向・傾斜は、N50E、16° (NW)で、北西向きに傾いている。</p>
位置	 <div data-bbox="406 1220 842 1388" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【No.123 観測点座標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緯度:26° 31' 17.2008"</li> <li>・経度:128° 03' 11.2631"</li> <li>・標高(EL):0.140m</li> <li>・標高(DL):1.303m</li> </ul> </div>
形状・構造	<p>辺野古崎の北東側に広がる波蝕棚で、嘉陽層の互層である。走向・傾斜は、N50E、16° (NW)で、走向・傾斜がほぼ一定している。沖合の対岸にカヌチャリゾートの施設が望める。</p>
規模	<p>波蝕棚の規模は、海岸線に沿った幅が約 70~80m、沖合に向かって約 150m とかなり広く、干出時には沖合まで歩いていけるほどである。</p>
その他 (保存状態)	<p>保存状態は良好である。</p>

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.123 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 17.2008"
- ・経度:128° 03' 11.2631"
- ・標高(EL):0.140m
- ・標高(DL):1.303m



業務名	シュワブ(H25)陸域生物等調査検討
項目	地形改変区域における重要な地形・地質記録 地形・地質の記録
調査地点	代替施設本体 <b>123</b>
期日	平成26年 <b>6月27日</b>
受注者	(株)プレック研究所

調査地点:No.123(波蝕棚)

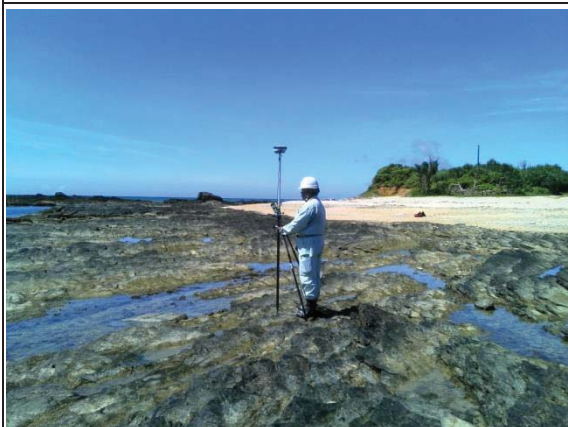
撮影日時:2014年6月27日 10:12



位置情報:緯度 26° 31' 16.97"  
経度 128° 03' 11.26"  
撮影方向:北北東



位置情報:緯度 26° 31' 17.13"  
経度 128° 03' 11.09"  
撮影方向:東北東



位置情報:緯度 26° 31' 17.43"  
経度 128° 03' 11.34"  
撮影方向:南南東



位置情報:緯度 26° 31' 17.45"  
経度 128° 03' 11.49"  
撮影方向:南



写真

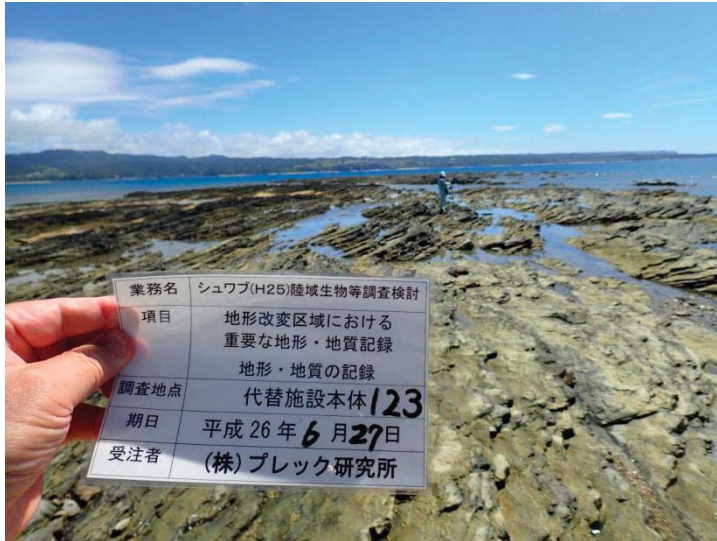


写真 (No.123①)  
波蝕棚。



写真 (No.123②)  
同上。  
写真右上に見えるのは長島、遠くに見えるのは安部崎と安部オール島。



写真 (No.123③)  
同上。  
嘉陽層の互層で、走向・傾斜はほぼ一様で、N50E、16°(NW)で、北西側に傾いている。  
沖合に対岸のカヌチヤリゾートが見える。



写真



写真 (No.123④)  
同上。  
波蝕棚。  
嘉陽層の互層。  
遠くに安部崎と安部  
オール島がみえる。

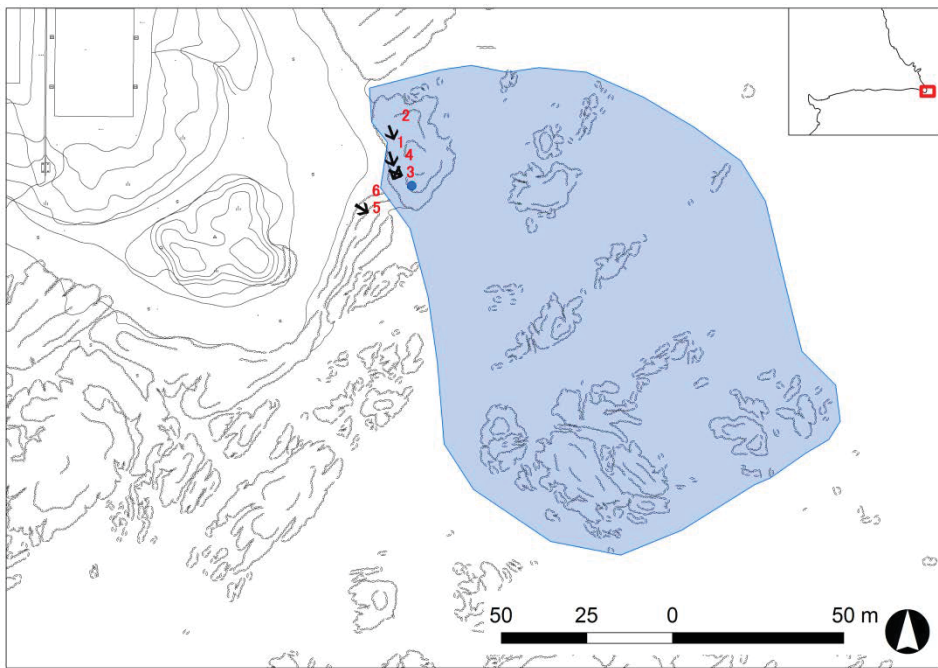


写真 (No.123⑤)  
同上。  
嘉陽層の互層。  
走向・傾斜がほぼ一  
様で、北西側に傾い  
ている。



写真 (No.123⑥)  
同上。

付表- 4.2.2.34(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 124)

No.	124
種類	波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 27 日及び 7 月 2 日
概要	辺野古崎の岬の先端部の海岸線に波蝕棚が広がっている。本調査対象は、このうち岬の東側に広がる波蝕棚である。「名護・やんばるの地質」(名護博物館、2011)のp113の第 12.139 図に非対称褶曲、第 12.140 図に軸が直線的な円筒状褶曲として紹介されている。
位置	 <div data-bbox="416 1272 852 1442" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.124 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緯度: 26° 31' 15.2236"</li> <li>・経度: 128° 03' 11.4795"</li> <li>・標高(EL): 0.580m</li> <li>・標高(DL): 1.743m</li> </ul> </div>
形状・構造	辺野古崎の東側に沖合に向かって広がる波蝕棚である。嘉陽層の互層を主体としているが、非対称褶曲もみられる。No.123、No.126 の波蝕棚と連続し、辺野古崎の先端部を波蝕棚がとりまいているその一部である。沖合には長島と平島が見え、はるか遠方に大浦湾を隔て安部崎と安部オール島も見える。
規模	海岸線に沿って幅約 100m、沖合に向かって約 150m の波蝕棚が広がり、No.123、No.126 の波蝕棚と連続し、辺野古崎の周辺に広大な波蝕棚がみられる。
その他 (保存状態)	保存状態は良好であるが、海岸線の一部に砂礫が堆積し、波蝕棚を覆っている。



代表地点の周辺4方向からの写真

【No.124 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 15.2236"
- ・経度:128° 03' 11.4795"
- ・標高(EL):0.580m
- ・標高(DL):1.743m



調査地点:No.124(波蝕棚)

撮影日時:2014.6.27 10:02



位置情報:緯度 26° 31' 15.30"  
経度 128° 03' 11.73"  
撮影方向:西



位置情報:緯度 26° 31' 15.40"  
経度 128° 03' 11.67"  
撮影方向:南



位置情報:緯度 26° 31' 15.23"  
経度 128° 03' 11.29"  
撮影方向:東



位置情報:緯度 26° 31' 15.00"  
経度 128° 03' 11.37"  
撮影方向:北

写真



写真 (No.124①)  
「名護・やんばるの地質」の p112 の第 12.139 図に非対称褶曲として紹介されている。



写真 (No.124②)  
同上。  
写真(No.124①)の右側。



写真 (No.124③)  
同上。  
写真(No.124②)の右側。  
走向・傾斜は、  
N80W、28° (N)で、  
北向きに傾いている。





写真 (No.124④)  
名護・やんばるの地質」の p112 の第 12.139 図に非対称褶曲として紹介されている。  
水平線の左側に見えるのは沖合の長島、右側に見えるのは平島である。



写真 (No.124⑤)  
同上。

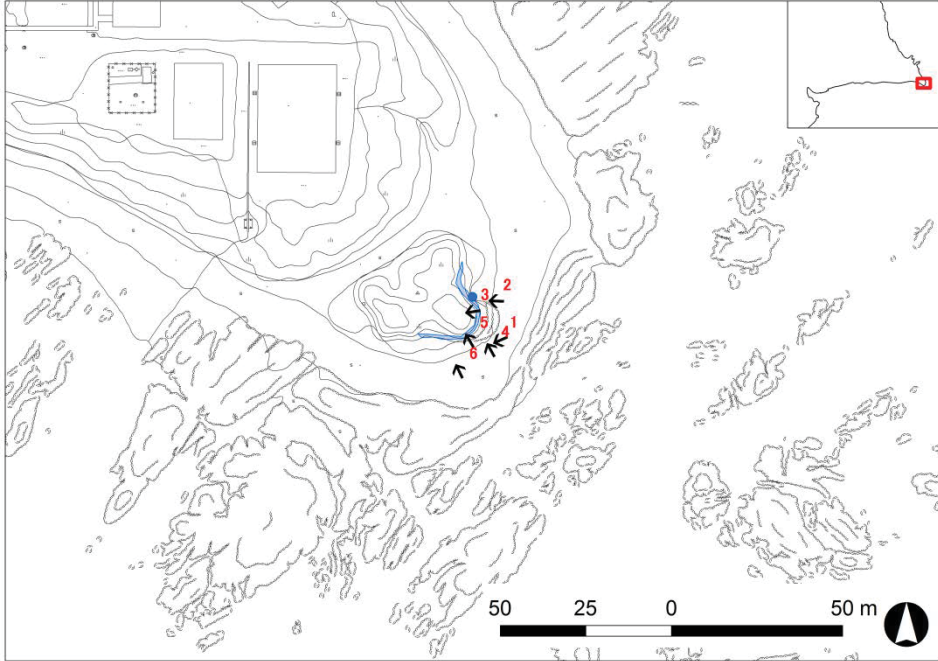


写真 (No.124⑥)  
同上。

写真



付表- 4.2.2.35(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No.125)

No.	125
種類	不整合面の露頭
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 27 日、7 月 2 日
概要	<p>辺野古崎の先端部の高さ約 5m 程度の高まりに嘉陽層の砂岩角礫、珊瑚片、軽石を含む赤色土壌化した厚さ 2m の石灰質砂からなり、嘉陽層を不整合に覆う露頭がみられる。「名護・やんばるの地質」(名護博物館、2011)の p182 の第 20.3 図に嘉陽コンプレックスを不整合に覆う珊瑚や軽石片を含む砂丘砂として紹介されている。</p>
位置	 <div data-bbox="411 1326 842 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.125 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緯度:26° 31' 14.7074"</li> <li>・経度:128° 03' 10.1331"</li> <li>・標高(EL):2.378m</li> <li>・標高(DL):3.541m</li> </ul> </div>
形状・構造	<p>辺野古崎の先端部の比高約 5m の高まりにみられる露頭で、嘉陽層の互層を不整合に覆う珊瑚や軽石片を含む赤色土化した厚さ 2m 程度の石灰質砂を含む洪積世の堆積物からなっている。嘉陽層互層の走向・傾斜は、N50E、26° (NW)である。</p>
規模	<p>辺野古崎の先端部の比高約 5m の高まりの周囲に高さ 2~3m 前後、幅 20~30m 前後の露頭がみられ、不整合面の露出がみられる。</p>
その他 (保存状態)	<p>露頭の保存状態は比較的良好であるが、崖上からはススキやクサトベラ、下の砂浜や嘉陽層の互層にはハマヒルガオやイネ科草本が侵入し、露頭を被覆しつつある。</p>

代表地点の周辺4方向からの写真

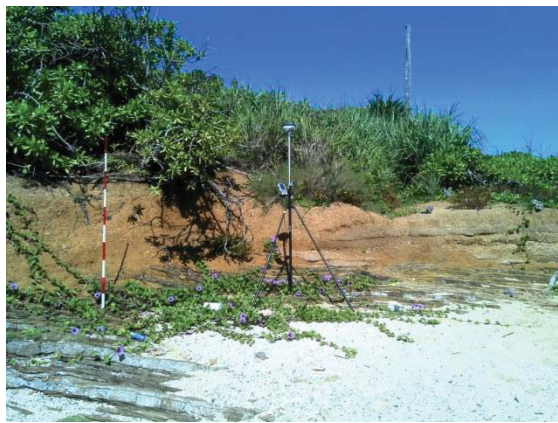
【No.125 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 14.7074"
- ・経度:128° 03' 10.1331"
- ・標高(EL):2.378m
- ・標高(DL):3.541m

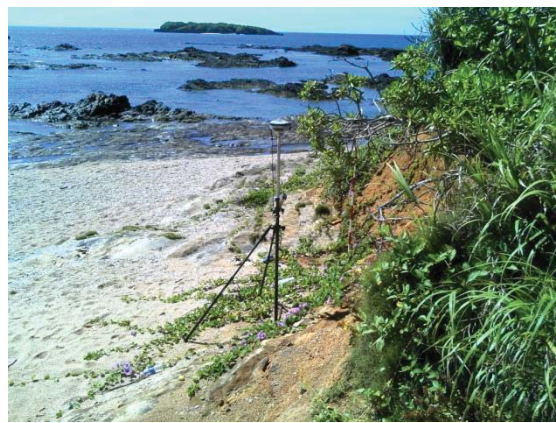


調査地点:No.125(不整合の露頭)

撮影日時:2014.6.27 10:43



位置情報:緯度 26° 31' 14.73"  
経度 128° 03' 10.35"  
撮影方向:西



位置情報:緯度 26° 31' 14.85"  
経度 128° 03' 10.09"  
撮影方向:南東



位置情報:緯度 26° 31' 14.97"  
経度 128° 03' 10.17"  
撮影方向:南南東



位置情報:緯度 26° 31' 14.57"  
経度 128° 03' 10.25"  
撮影方向:北西



写真



写真 (No.125①)  
辺野古崎の岬の先端部の小高い高まりに嘉陽層を不整合に覆う洪積世の堆積物が観察される。



写真 (No.125②)  
同上。  
砂浜から海浜植物であるハマヒルガオが侵入しつつある。



写真 (No.125③)  
嘉陽層の砂泥の互層を珊瑚、軽石を含む砂丘砂が不整合に覆い、その上に赤褐色を呈する赤色土化した洪積世の堆積物が覆っている。